



「令和7・8年度仙台市障害者相談員委嘱状交付式」が令和7年5月20日(火)に開催されました。仙台市障害者総合支援センターの井上美貴子所長同席のもと、新たに委嘱を受けた2名を含め、26名の相談員へ委嘱状が交付されました。

令和7年度・令和8年度
仙台市障害者相談員委
嘱状交付式



発行所
〒980-0022 仙台市青葉区五橋二丁目12番2号
仙台市福祉プラザ8階
(臨時事務所)
〒980-0011 仙台市青葉区上杉1丁目6-10
EARTHBLUE仙台勾当台ビル5階
社会福祉法人 仙台市障害者福祉協会
TEL 022-266-0294代 FAX022-266-0292
発行人 阿部一彦
(題字 郡和子市長の書)
定価 500円/年
(購置料は会費に含む)

第19回障害者交流
ゲートボール大会を
開催しました

シエルコムせんだいを会場に、第19回障害者交流ゲートボール大会が令和7年4月13日(日)に開催されました。当日は13チーム、73名の方が大会に参加し、仙台市ゲートボール協会御協力のもと17名の審判員にも参加いただきました。

開会式では、初の試みの始球式を、来賓で顧問の野田護市議会議員、当協会の阿部一彦会長、仙台市泉区身体障害者福祉協会佐藤正人会長に行っていたきました。競技は、午前・午後にわたり、計7試合を実施しました。各チーム一丸となって競技に取り組み、白熱した試合が続き、良い大会となりました。また、山形からの招待チームも参加し、県を越えての親睦も



図ることが出来ました。今大会は4勝したサイレントチームが優勝。2位は3勝した多賀城チーム。同じく3勝した眺海チームが得失点差で3位という結果となりました。閉会式では仙台市ゲートボール協会会長後藤昇様よりご講評を頂き、今大会を締めくくりました。

第70回日本身体障害者福祉大会
かながわ大会が神奈川県横浜市
にて開催されました

第70回日本身体障害者福祉大会かながわ大会が、令和7年6月12日に横浜のパシフィコ横浜で開催されました。

オーブニングを創作和太鼓グループ「鼓粹」の迫力ある音が響き渡り、会場全体を盛り上げました。コロナ禍や能登半島地震によるいしかわ大会中止のため6年ぶりの対面開催となりましたが、会場では参加された皆さんが久しぶりの対面に懐かしくお話をする姿と笑顔に溢れていました。

また、今回のかながわ大会では、長年にわたって地域における障害者福祉の向上や、権利擁護のために尽力された方々の功績に対して日本身体障害者団体連合会会長表彰が行われ、当協会の渡邊純一常務理事が表彰を受けられました。大会の最後には、次回開催地の代表挨拶を狩野勝幸副会長が行いました。来年の第71回日本身体障害者福祉大会は、仙台大会になります。たくさんの方々に仙台にお越しいただき、仙台の魅力がたくさん

知っていたかと思っております。来年、皆さまにお会いできるのを楽しみにしております。



令和7年度ふれあいの旅を開催しました

令和7年6月11日(水)から13日(水)の3日間に渡って、当協会主催のふれあいの旅が開催されました。今回は、9名の方にご参加いただくことができました。初日は仙台駅から新幹線移動し、到着後は福祉タクシーを利用して、鎌倉の名所を巡りました。鎌倉大仏殿(高德院)では歴史的文化財に触れ、鶴岡八幡宮で参拝を行

い、小町通りでは買い物や食べ歩きを楽しみました。

2日目はパシフィコ横浜にて開催された「第70回 日本身体障害者福祉大会かながわ大会」に参加しました。会場には全国から多くの人が集い、神奈川県を代表し和太鼓などの文化的な催しの後、第1部では式典、第2部では、GREEN×EXPO 2027に関する講演会が行われ、次回開催地代表の挨拶を、当協会の狩野勝幸副会長が行いました。たくさんさんの刺激と学びがあり、有意義な時間を過ごすことができました。午後は横須賀軍港クルーズにて港湾の見学を行い、普段見ることができない潜水艦など様々な景色を楽しみました。また、車いすの方でも安心して



クルーズ体験が行えるよう乗り場までスロープが設置されており、スタッフの方が親切に対応してくださった姿が印象的でした。

最終日となる3日目は、横浜ランドマークタワーおよび赤レンガ倉庫周辺を散策し、横浜の街並みを堪能しました。参加者の方からは、「普段できない体験ができて、とても楽しかった。」などの感想をいただきました。

障害のある方のレクリエーション教室「写真教室・スケッチ教室」を開催しました

令和7年6月25日(水)に障害のある方のレクリエーション教室「写真教室・スケッチ教室」を開催し、昨年より多い121名の方にご参加いただきました。

リフト付き大型バス3台にて、JR仙台駅東口バスターミナルと仙台市太白障害者福祉センターより出発。山形県村山市にある「東沢バラ公園」を会場に、スケッチ教室は河北美術展顧問の山家利治先生、写真教室は日本写真協会の竹内正先生のご指導のもと、スケッチと写真撮影を実施しました。好天の

中、経験豊富な先生方のわかりやすい指導に、安心して楽しみながら写真やスケッチを行うことができました。

その後、「東紅苑」にて山形風いも煮とおにぎりのセットと旬の果物さくらんぼに舌鼓を打ち、食後は施設内のホールで参加者の皆さんがスカットボールや卓球などで、楽しく交流していました。

最後に「道の駅寒河江チェリーランド」に立ち寄り、600種類を超えるお土産品からお買い物を楽しみながら美味しいアイスクリームも堪能し、帰路に着きました。

参加者の皆様からは、「先生のアドバイスがとても良かったです。」「楽しく美味しいレクリエーションでした」





「昼食で初対面の人とお話しして、楽しく交流できました。」との感想が寄せられました。
 今後も、障害のある方の交流の場と生きがいづくりになるような企画を行って参ります。



**令和7年度仙台市障害者親善国際交流事業として
 台南市を訪問しました**

令和7年5月6日(火)～5月11日(日)の行程で、令和7年度仙台市障害者国際交流事業として台南市を訪問しました。
 台南市は仙台市と2006年1月に交流促進協定を締結している都市で、台南市身心障害体育運動総会と当協会とは友好関係を結んでいる団体でもあり、長年にわたる



交流を続けておりますが、今回は2023年11月以来2年ぶりの訪問となりました。

初日の到着時は、遅い時間にもかかわらず、桃園空港までリフト付きバスで迎えに来ていただき、等々行程中もリフト付きバスを手配いただき、各所を視察しました。
 2日目の午前中は仁愛之家を訪問し、実際に当事者や高齢者が入居している施設を見学しました。また、午後には台南市の市議会を訪問し、議長をはじめ台南市議会の方々から台南市の実情をお聴

きしました。その後議事堂を見学し、夕方からはウエルカムパーティを開催して頂き、台南市長同席のもと歓迎を受けました。

3日目は、台南広域にダムを建設した日本人、八田與一さんの慰霊祭に出席しました。このダムが完成したことにより、台南市だけではなく広域にわたり水を引くことで、水田を作ることが出来るなど、産業、工業など多くの発展に繋がったと伺いました。当日は台湾の頼清徳総裁が出席され、盛大な慰霊祭でした。

4日目の午前には、台南市身心障害体育運動総会の方々と「フロアカーリング」と「バグゴ」のルール説明を受け、実際に対戦しました。フロアカーリングは専用のスティックを使うことで、少ない力でストーンをターゲットに近づけることが出来、手軽に対戦することが出来ました。戦術も多様で、台南市のコーチの方からアドバイスを受け、シーソーゲームを展開することが出来ました。もう一つのバグゴは日本のバグゴとは用具も異なり、表裏素材の異なるビーンバックで木製のボードに空いている穴をねらう

競技でした。遠く離れているボードを狙って投げるため、全身運動になりました。勝敗とは別に手軽にできる2種類のゲームを行い、お互いに交流ができました。夕方からはお別れパーティーを開催していただき、今回の行程では、最後の交流の時間となりました。

5日目は、台南市内の公共施設をめぐる、バリアフリー環境などを確認し、台南市滞在期間を締めくくりました。

5泊6日の日程の中で様々な施設見学やスポーツを通じ、台南市の方々との交流ができました。



**郡和子仙台市長へ
台南マンゴー贈呈式が
行われました。**

令和7年6月27日、仙台市役所にて台南マンゴー贈呈式が行われました。令和7年6月28日～29日に一番町四丁目商店街・エルパーク仙台で開催された仙台・台南交流促進協定締結20周年記念・台南市

フェアに併せ、社団法人台南市身心障害体育運動総会の蔡有仁理事長をはじめ5名の方々が仙台市役所を訪問し、郡和子仙台市長へ特産の台南マンゴーを贈呈されました。当日は郡和子仙台市長をはじめ、藤本章副市長、顧問の野田譲市議会議員、高橋卓誠市議会議員にもご出席いただきました。



**仙台市身体障害者レクリエーション
交流大会(旧仙台市身体障害者家族
ぐるみ運動会)を開催します**

昨年まで仙台市身体障害者家族ぐるみ運動会として開催しておりましたが、より多くの方に参加していただくことを目的に、「仙台市身体障害者レクリエーション交流大会」と名称を変更して令和7年9月13日(土)に開催いたします。

市内各区のチームに分かれ、「投げつチャ競技」「パンつかみ競争」「玉入れ」など身体に障害がある方が気軽に参加できる種目により優勝を争います。

たくさんの方のご参加お待ちしておりますので、お誘い合わせのうえ、ご参加ください。

期 日

令和7年9月13日(土)

10時～13時(予定)

9時30分から受付を行います。

●今回から事前申込制となります。

募集期間8月1日～8月29日

当日は市内2コースの送迎バスを運行します。市役所本庁舎2階

情報センター、仙台市障害者福祉協会にて配布するチラシ(7月下旬予定)をご確認の上、お申し込みください。

持 参

ジャージ等の動きやすい服装・上履き(運動靴)・飲み物・タオル

場 所

元気フィールド仙台
(仙台市宮城野体育館)
宮城野区新田東四丁目1番1号

**障害のある方による書道・
写真・絵画コンテストの
作品を募集します**

本コンテストは、障害のある方の文化活動・芸術活動の振興を図ることを目的として開催いたします。

●募集内容

【書道の部】

毛筆は半紙サイズ
硬筆はA4サイズ

【写真の部】

フリーの部・ポートレートの部
(人物を題材とした作品が対象)・

携帯フオトの部(携帯電話のカメラ機能で撮影したもの)、以上3つの部門のうち一つを選んで応募。
四つ切サイズ(ワイド含む)。
デジタルカメラ撮影作品はA4サイズも可

【絵画の部】

日本画・洋画・版画はF10号以内。
絵手紙はF4号以内。

●対象

市内にお住まいで障害のある方

●各部門

1人1点まで。テーマは自由。
作品は天地が分かるように、裏面にその区別を記入してください。

(申) 市役所本庁舎2階情報センター、社会福祉法人仙台市障害者福祉協会などで配布する応募用紙を作品に添えて8月5日(火)必着で社会福祉法人仙台市障害者福祉協会までご提出ください。



障害のある方もない方も、一緒に楽しめるイベントです。障害のある方によるステージ発表や芸術作品の展示のほか、ふれあい製品の販売など、楽しい企画が盛りだくさんです。



●日時 9月28日(日)10時から15時
●会場 しいこいのゾーン、野外音楽堂(予定)、一番町四丁目買物公園

◆ステージ発表: 勾当台公園いこいのゾーン特設ステージで、障害のある方のグループ等が歌やダンスなどを披露します。

◆ふれあい製品の展示販売: 市内の障害者施設が製作した、お惣菜・おにぎり・パン・焼菓子・野菜・木工作品アクセサリなど心のこもったふれあい製品を展示販売します。

◆障害のある方の作品展: 一番町四丁目買物公園で、書道・写真・絵画などの作品を展示します。

令和6年度 賛助会員ご加入ご芳名

相澤 新弥	相澤 光夫
跡邊 静枝	我孫子経廣
阿部 勇	阿部 一彦
色川 隆雄	上埜 正弘
海老名正之	大滝 美里
大沼 光雄	加藤 新光
狩野 和哉	狩野 勝幸
菊池 正博	北村美香子
木村 裕子	紺野 千尋
坂本友里江	佐々木 力
佐藤 孝志	佐藤 隆雄

佐藤 民子	佐藤 正人
鳴野 祐子	鳴原 真一
菅井 清和	菅井 裕美
鈴木 清隆	鈴木 成貴
砂田 幸英	瀬戸 倫治
高橋 和良	高橋すみ江
高橋 千草	高橋 則子
田中 哲	千葉 文児
月井百合子	中尾 善幸
成田 錬	西村 裕賀
早坂 健一	引田 吉広
樋口とよ子	福田美恵子
藤田亜希子	松 純一
松本 克之	村島 幸子
目黒 啓子	森 マチ子
山上 静子	吉田 悟
渡邊 純一	渡邊 美香

(五十音順、敬称略)



避難行動要支援者の避難支援対策についてお知らせします

仙台市では、災害時に取り残される方を減らすため、「避難行動要支援者名簿」の整備と、それに基づく「個別避難計画」の作成を進めています。地域全体で避難が円滑に行われ、誰もが安心して避難できる体制づくりを目指します。

避難行動要支援者名簿について

■ 避難行動要支援者とは

災害時に自ら避難することが難しく、支援が必要な方のことです。

■ 避難行動要支援者名簿とは

災害時に自ら避難することが難しい避難行動要支援者を、仙台市があらかじめ登録しておく名簿です。この名簿は、本人の同意に基づき、平時から、お住まいの地域の関係者(町内会や民生委員など)に提供し、平常時の見守り活動などの支援体制づくり、災害時における安否確認などの避難支援に活用されます。

■ 名簿に登録される方

1. 要介護3～5認定者
2. 身体障害者手帳1・2級所持者
3. 療育手帳A所持者
4. 精神障害者保健福祉手帳1級所持者
5. その他支援が必要な方(1～4の要件に準じて災害時に自ら避難が困難であると市長が認めた方)

■ 名簿に載る情報

- ・氏名、生年月日、性別、住所
- ・連絡先(電話番号)
- ・要介護度や障害の等級など(避難支援を必要とする理由)

個別避難計画について

■ 個別避難計画とは

災害時に「どこへ、どうやって」、「だれが支援するか」、「どのような配慮が必要か」など、避難支援に必要な情報をあらかじめ記載した、お一人おひとりの避難計画のことです。作成した計画を、仙台市と要支援者、避難を支援する方などで共有し、災害に備えます。

計画を作成することで、実際に避難が必要となったときに、早く避難行動がとれることを目指しています。

■ 計画作成の対象者

名簿に登録されている方のうち、計画作成に同意する方のみ作成します。

スケジュール

令和7年度は、避難行動要支援者名簿に登録されている方で、お住まいの地域が、仙台防災ハザードマップ上で「土砂災害特別警戒区域」または「早期の立ち退き避難が必要な区域」に該当している方を対象に、個別避難計画の作成を始めます。対象となる方には、順次、ご案内を郵送します。

お問い合わせ

仙台市危機管理局防災計画課 要配慮者避難支援担当

● 仙台市青葉区国分町3-7-1(市役所本庁舎2階) ● TEL: 022-214-8704 ● FAX: 022-214-8096



令和7年8月15日必着
多数のご応募お待ちしております。

【必着】

〒980-0011
仙台市青葉区上杉1丁目6-10
EARTHBLE 仙台勾当台ビル5階
FAX 022-266-0292

【宛先】

仙台市障害者福祉協会
①答え ②氏名 ③住所 ④電話番号をハガキまたはFAXにご記入願います。
正解者の中から抽選で5名の方にクオカード千円分をプレゼントいたします。

【応募のきまり】

- ①多賀城チーム
- ②眺海チーム
- ③サイレントチーム

【問題】

プレゼントクイズ

第19回障害者交流ゲートボール大会で、優勝したチームはどこでしょうか？

